

平成26年度 事務事業マネジメントシート

事業名	流山おおたかの森駅前市有地活用事業			会計	款	項目	大	小
政策	01	1節 整備・開発と自然環境のバランスがとれた流山（都市基盤の整備）	主管課	誘致推進課	01	02	01	52
施策	1-2	地域特性に合った良好な市街地整備	主管課長	武井 厚				

I 事務事業の目的・内容

事業目的	対象	流山おおたかの森駅周辺	意図	市の新拠点として発展する
事業内容	本市の新拠点を形成するために、民間活力を活かした事業手法により、流山おおたかの森駅前市有地に行政・文化・商業・業務など複合的な機能を持つ施設を整備する。導入機能、事業スキーム及び事業条件等の検証を行った上で事業者の公募、選定を行い、整備に向けて関係機関等との調整を行う。			
事業開始から現在までの状況変化	平成23年11月に「市有地活用基本方針」を策定・公表。平成26年度に区画整理事業者から市有地の引渡し時期が平成27年度末と示される。平成26年10月に公募支援業務の受託者を選定。副市長を座長とした市有地活用検討会議を開催。平成27年3月に外部有識者等5名で構成する「事業者選定委員会」を発足。平成27年3月に「実施方針」等を策定・公表。			

II 事務事業の実績・現状及び成果を表す指標の動きとコストの状況

指標	名称	平成24年度	平成25年度	平成26年度	単位	目標方向	算定式（成果指標の場合）
		①	建設工事着手面積率	0	0	0	%
②	流山おおたかの森駅周辺人口	16,491	18,215	20,477	人	↑↑↑	駅から半径1km内の大字の住民基本台帳人口（年度末）
③	TX流山おおたかの森駅1日当り乗車人数	30,450	31,850	32,100	人	↑↑↑	TXホームページから数値取得
④	東武流山おおたかの森駅1日当り乗車人数	49,631		52,406	人	↑↑↑	東武鉄道ホームページから数値取得
指標で表すことができない定性的な成果	流山おおたかの森駅周辺における賑わいの創出と交流人口の増加						目的に対する現状（客観的事実・データに基づく現在の状況や取組状況） ・公募支援業務は2か年業務とし、受託者については、平成26年10月に総合評価一般競争入札によって選定した。 ・平成26年度は、市有地活用検討会議を5回開催した。 ・これまで当該市有地活用事業に関心のある企業との間で行ってきた意見交換の内容を踏まえて、事業条件、事業スキーム等について整理した。 ・当該事業に関する募集要項等の公表は平成27年度に入ってから間もなく行い、同年秋に事業者を選定する予定。
事務事業のコスト		平成24年度	平成25年度	平成26年度			
事務事業の総コスト(a=b+c)		5,383,500	2,096,100	10,499,186			
事業費(b)(円)				3,589,920			
うち一般財源				3,589,920			
職員給与費(c)(円)		5,383,500	2,096,100	6,909,266			
人役・職員(人)		0.75	0.30	1.00			
人役・再任用(人)							
人役・臨職(人)							
人役・嘱託(人)							
初期投資コスト(円)（建設又は取得年度のみ記入）							
想定耐用年数（年）（建設又は取得年度のみ記入）							

III 事務事業の評価、今後の方向性及び業務改善 <※主管課長記入>

(1) 事務事業についての評価及び今後の方向性

個別評価	必要性	今後の必要性	A 必要性が高まると考えられる	有効性	目標達成度	B 達成できなかった
		市関与の必要性	A 市が担うべき	効率性	対象者の適切性	A 対象者は適切である
					コストの削減	A 削減の余地はない
総合評価	II 継続（事業を現状どおり継続すべき）					

(2) 事務事業の業務改善について

①今年度(H26)の改善計画	<ul style="list-style-type: none"> 区画整理事業者と市有地引渡し時期について綿密な協議を重ねる。 公募支援・設計モニタリング業務委託を活用しての円滑な公募業務を進める。 	③取り組みの課題	複数事業グループから、新拠点の形成にふさわしい提案を受け、優秀な提案を選定する。
②今年度(H26)に実施した取り組み	<ul style="list-style-type: none"> 区画整理事業者との協議により、引渡し時期を確認した。 公募支援業務受託者を選定し、事業者募集に係るサポートとして活用中。 	④今後の改善計画	企業との直接対話を開催し、市の意向を的確に伝え、実現性の高い提案を受けられるよう募集要項等を策定する。